

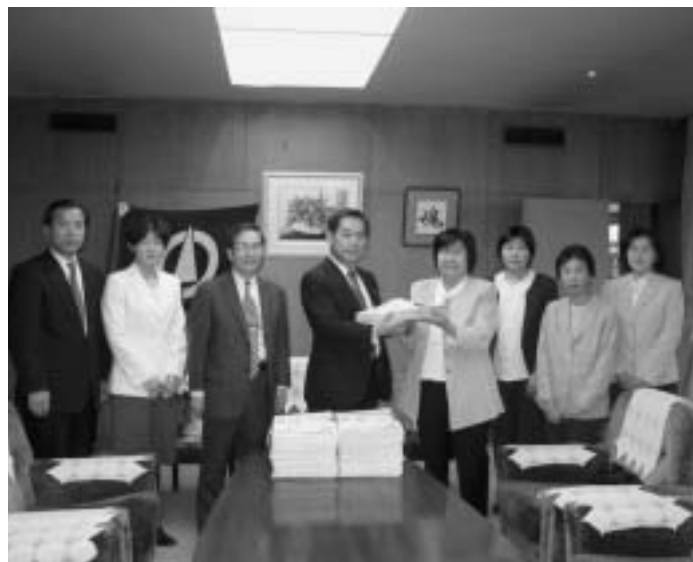
# たちちゃん通信

第31号

山口ただやす後援会発行  
〒323-0012 小山市羽川362-8  
25-2713

## 子どもたちの安全確保を求め、市長に要望！

公明党小山支部34,686人の署名簿提出



公明党小山支部の党員は3月18日、小山市役所を訪れ「子どもたちの安全確保を求める要望書」を、34,686人分の署名を添えて大久保寿夫・小山市長に提出しました〔写真〕これには、市議会公明党の山口忠保、生井貞夫、荒川美代子の各議員も同席しました。

小山市は県内有数の犯罪の多いまちになっており、平成15年の市内における刑法犯の発生件数は4,404件であり、前年に比べて202件も増加しています。児童生徒が下校中に不審人物による声かけ被害を受けるケースも毎年40件くらいあり、善良な市民の平和で安全であるべき日々の生活が脅かされています。

要望書では、小山市の子どもたちが安全・安心な生活を送ることができるようにと、低公害車による「自治体ミニパトカー」の導入と、子どもたちの下校時間などに合わせた巡回パトロールの実施 「スーパー防犯灯」「子ども警報装置」等の設置を推進 弱者である子どもたちが被害を受けないよう、自衛手段の一つとして外国人の子女等も含め子ども全員に防犯ブザーを配布すること - の3点を強く求めています。

申し入れに対し大久保市長は、「本年1月1日から“小山市生活安全に関する条例”を施行したところであり、市民パトロール隊の編成も計画している。防犯ブザーの配布はすでに予算化しており、他の要望についても実現にむけ研究したい」と答え、要望については前向きに取り組む姿勢を示しました。

### 山口ただやす議員 2月定例議会でも質問

自治体パトカーは千葉県松戸市や東京都江戸川区でも導入され効果をあげている。小山市でもハイブリッドカーや電気自動車など低公害車の導入にあわせて自治体パトカーの導入と子どもたちの下校時に合わせた巡回パトロールの実施を。

またスーパー防犯灯はインターホンや防犯カメラなどがセットになったものであり、すぐ警察に繋がるすぐれ物である。警察庁が全国的に導入しようとしているものであり、すでに導入した地域ではひったくりが60%減少したなどという効果も出ている。小山市でも早期の導入を。

(市民生活部長)自治体パトカーの効果は議員ご案内のとおりです。警察と協議の上、前向きに検討していきたい。またスーパー防犯灯についてもかなりの値段がする事もあり、どこら辺にどういう形で配置するのが適正かも踏まえて、小山警察署とも協議します。できるだけ実現に向けて努力したい。

参議院比例区  
予定候補者

# はまよつ敏子の

## 実績ベスト8



さい帯血移植の普及を実現  
白血病などの難病に苦しむ人を助けたい。さい帯血移植の普及に尽力。日本さい帯血バンクネットワークの設立、さい帯血移植への保険適用を強力に推進して実現。すでに1500例を超す移植が実施され、多くの命が救われている。

たちを支援するため、アメリカンスクールの中学校卒業資格の認定、新校舎建設を実現した。

ストーカー規制に効果発揮  
女性の人権を守るため、つきまといや待ち伏せなどを繰り返すストーカー行為を規制・処罰するストーカー規制法の制定を推進。2000年11月の法施行後、警察から「警告」を受けた96%の人がストーカー行為をやめており、犯罪抑止に大きな効果を挙げている。

DV防止へ法的規制を強化  
配偶者などからの暴力を防止するDV(ドメスティック・バイオレンス)防止法制定に尽力。加害者の住居からの退去や被害者への接近を禁止する保護命令を導入。法施行から2年余を経過し、さらに被害者保護の強化を図るため、今国会での法改正をめざす。

アレルギー疾患  
患者が前増  
アレルギー疾患対策の充実へ、2000年4月に1464万人の署名を政府に提出。これを受け、対策予算が大幅に増額。神奈川県立相模原病院に臨床研究センター設置

横浜市内に免疫・アレルギー科学総合研究センター整備など、総合対策が前進している。

世界の対人地雷除去を推進  
対人地雷除去支援に向け、日本が1998年に批准した「対人地雷禁止条約」への署名を強く働き掛けると、早くから政府の取り組みをリード。その結果、自衛隊が保有する対人地雷約100万個の廃棄が2003年2月には完全廃棄が終了した。

性同一性障害者の戸籍変更  
生物学的な性と本人が自覚する性が一致しない性同一性障害者に対し、家庭裁判所の判断により戸籍上の性別変更を認める特例法が昨年7月、異例のスピードで成立。マイノリティに耳を傾け、だれよりも真剣に法整備に奔走してきた。

女性専門外来の開設が拡大  
女性特有の病状に女性医師がいてほしいと診察する「女性専門外来」の開設を推進、好評を博している。

女性専門外来の開設が拡大  
女性特有の病状に女性医師がいてほしいと診察する「女性専門外来」の開設を推進、好評を博している。

女性専門外来の開設が拡大  
女性特有の病状に女性医師がいてほしいと診察する「女性専門外来」の開設を推進、好評を博している。

**犯罪から市民を守れ**  
栃木県小山市  
防犯カメラを設置

防犯カメラ(中心)が設置された小山市役所。防犯カメラの設置は、市民の安全を守るために重要な役割を果たしている。小山市では、防犯カメラの設置を推進し、市民の安全を守るために取り組んでいる。

防犯カメラの設置は、市民の安全を守るために重要な役割を果たしている。小山市では、防犯カメラの設置を推進し、市民の安全を守るために取り組んでいる。

**こんな課題に取り組んでいます**

若者の雇用支援  
学生やフリーターなど、若い求職者向けの多様なサービスを1カ所提供できるジョブカフェを都道府県に増設。

高年齢者への虐待防止  
介護が必要な高年齢者を深刻な虐待から守るため、「虐待防止法」の制定をめざす。

乳がんの早期発見  
40歳以上の女性を対象に、より正確に乳がん発見が可能なマンモグラフィ検査の導入を推進。

イラク復興を支援  
メソポタミア湿原の復元を提言。イラク復興を望む約551万人の署名を政府に届け、日本の取り組みを後押ししている。

【略歴】1945年生まれ。党代表代行、党女性委員会委員長。元環境庁長官、慶應義塾大学法学部卒。弁護士。日弁連「女性の権利に関する委員会」委員、日本女性法律家協会副会長など歴任。現在、日本ユネスコ国内委員会委員。沖縄へ国連機関誘致を推進する議員連盟事務局長。参院議員2期。

# 地域の要望活動が続々と実現！！

## 小山駅西循環バス実験運行開始！！



市民待望の小山駅西循環バス実験運行出発式が、3月1日午前6時20分からロブレ正面玄関前において執り行われました。これには小山市バス交通整備計画策定検討委員会委員長の山口ただやす議員をはじめ、要望活動を行なった「コミュニティバスの運行を求める市民の会」の代表も招待され、始発のバスに試乗しました。

(始発前に記念のカメラに収まる市民の会メンバーと山口ただやす議員)

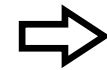
## 国道4号線、中央町歩道橋にスベリ止め工事が完成！！

「バリアフリーのまちづくりを進める市民の会」の代表と山口ただやす議員は2月13日、国土交通省国分寺出張所を訪れ、中央町歩道橋(市役所前)のスベリ止め設置を求める要望書を長洲所長に提出しました[写真]

要望に対し長洲所長は『国道4号線に架けられている歩道橋はいずれも老朽化しており、平成16年度に補修のための調査を行う予定です。調査から補修まで若干時間がかかるので、応急処置として現況の中でスベリ止め工事を行ないます』と即答されました。

そして3月に入り、同工事が施工され、子どもたちも安心して通行できるようになりました。

(長洲所長に要望書を提出する市民の会メンバーと山口ただやす議員)



施行前



施行後

## 若木町1丁目地内に透水性舗装が完成！！



若木町1丁目在住の境真一氏他15名から要望が出されていた同地内の生活道路の舗装について、3月下旬に要望通り透水性舗装が完成しました。関係者の皆様にお喜びを申し上げます。

## 羽川・南半田地内に側溝設置が実現！！



## 扶桑団地内通学路のU字溝蓋掛けに着手！！



## 扶桑市営住宅22号棟、トイレ改修 平成16年度に着手！！

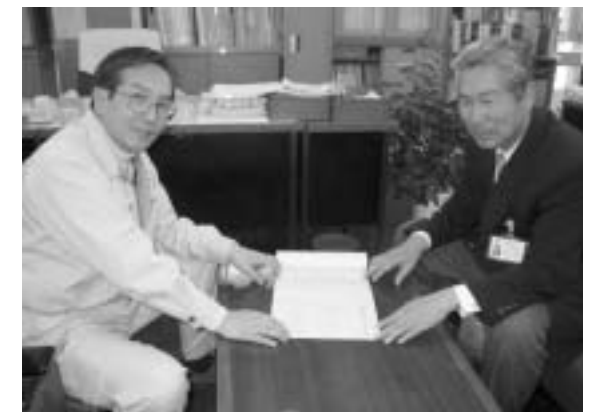


市営22号棟は昭和46年に建築され、団地内では唯一、狭い和式トイレのままです。高齢者や妊婦などの危険防止も含め、洋式トイレへ改修するように同自治会及び22号棟住民一同で市へ要望していました[写真] このたび平成16年度当初予算にその工事費が計上され、本年度中に改善される事が決定しました。

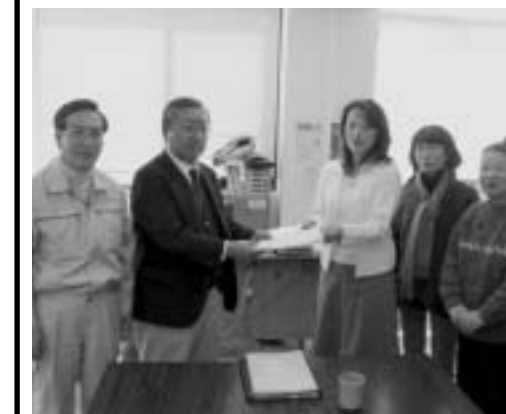
(トイレ改修を市長に要望する住民代表と山口議員)

## 横倉踏切(三峯)、平成16~17年度で拡幅整備！！

バリアフリーのまちづくりを進める市民の会と山口ただやす議員は平成15年12月22日、「横倉踏切」と「第二境街道踏切」の安全横断を求める要望書を236人の署名を添えて小山市の多田正信建設水道部長に提出しました。席上同部長は『横倉踏切は平成16年度に用地買収を行ない、平成17年度に拡幅整備します。第二境街道踏切はJR東日本の方で、水戸線の単線線を撤去した後に整備される予定になっています』と答弁しました。



## 両毛線踏切(県道粟の宮喜沢線)の拡幅整備を要望！！



県道粟の宮喜沢線は昭和63年12月16日に幅員12m(一部16m)として整備されるべく都市計画決定されていますが、未だ完全な整備には至っていません。通過車両も多く、特に朝夕の通勤通学時には混雑を極めています。その中で特に危険なのがJR両毛線と交差する踏切部分であり、早期の拡幅整備が望まれています。バリアフリーのまちづくりを進める市民の会と山口ただやす議員は、福田昭夫知事宛の要望書を平成16年2月16日に140人の署名を添えて栃木土木小山詰所所長に提出しました。